

## 勾配天井の作成方法

文書管理番号：1049-01

### Q. 質問

勾配天井を作成し、パースで表現したい。

### A. 回答

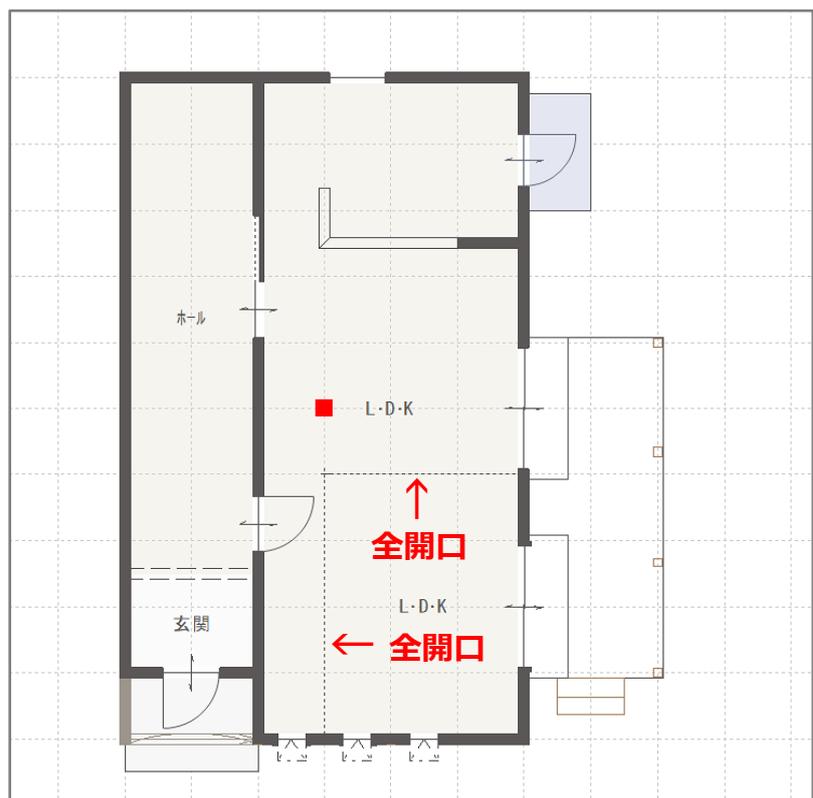
パースで勾配天井を表現するには、勾配天井にしたい部屋の天井高を、屋根よりも高くなる値に設定します。天井面の高さを屋根よりも高くすることで、天井面が屋根下に勾配なりに自動でおさまります。部屋の一部を勾配天井にしたい場合は、あらかじめ勾配天井にしたい範囲を区画で分けて天井高を変更します。

ここでは、LDKの一部を勾配天井にする作成方法を説明します。屋根の高さが基準となりますので、あらかじめLDKの上部に勾配の屋根を作成しています。

操作手順 \*間取りは簡略化しており、屋根は作成済みです

①  (プラン図)で、 (壁)の (全開口)をクリック

② 勾配天井にしたい範囲を全開口で区切り、同じ「LDK」の部屋名に設定



③ (要素選択)で、勾配天井の区画を選択後、右クリック

\* 部屋のスマートメニューと右クリックメニューが表示されます。

④ 部屋のスマートメニューで、「天井高」を屋根よりも高くなる値に設定

\* 今回は 4000mm に設定します。



⑤ (3D パース)で確認



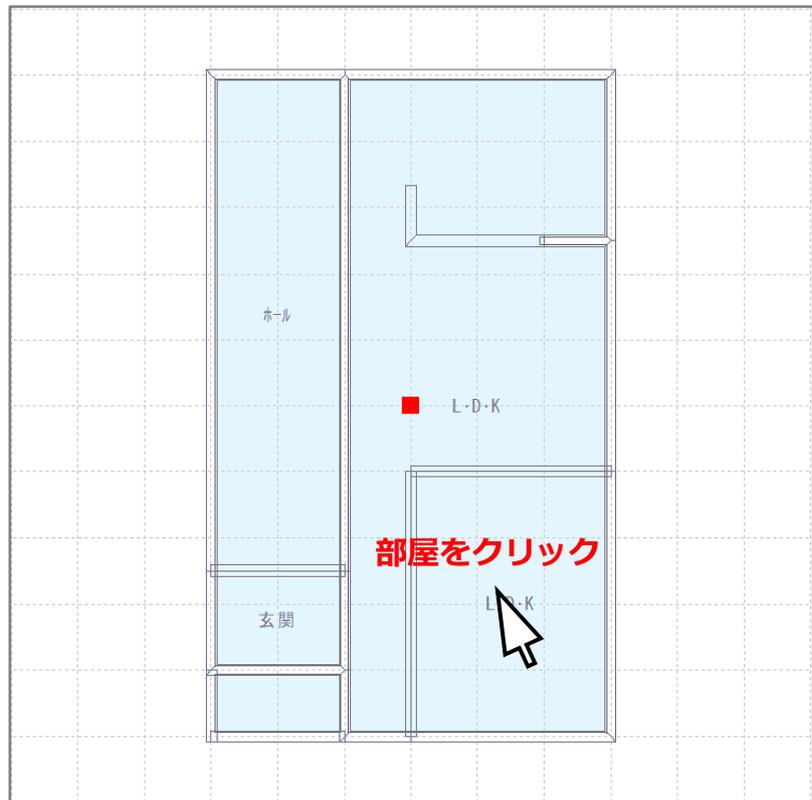
\* フラットな天井面との立ち上がりの面は、自動で生成されます。

3D パースで勾配天井が作成されない場合は、天井伏図がプラン図のスマートメニューでの設定と連動していないので、天井伏図を確認します。

⑥ (クイックメニュー)またはメインメニューの (天井伏図)をクリック

⑦ (初期化)の (部屋指示) をクリックし、勾配天井の区画をクリック

- \* 指示した部屋の天井高を、プラン図で設定した高さに初期化します。
- \* 初期化をしても天井伏図に変化はありませんが、一度実行することで反映されます。

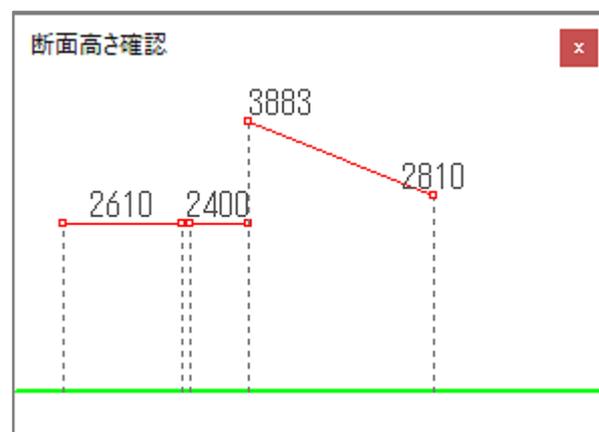


- \* 天井の形状や高さは、 (リアルタイム 3D ビューア)の内観や (断面高さ確認)などでも確認できます。

<リアルタイム 3D ビューア>



<断面高さ確認>



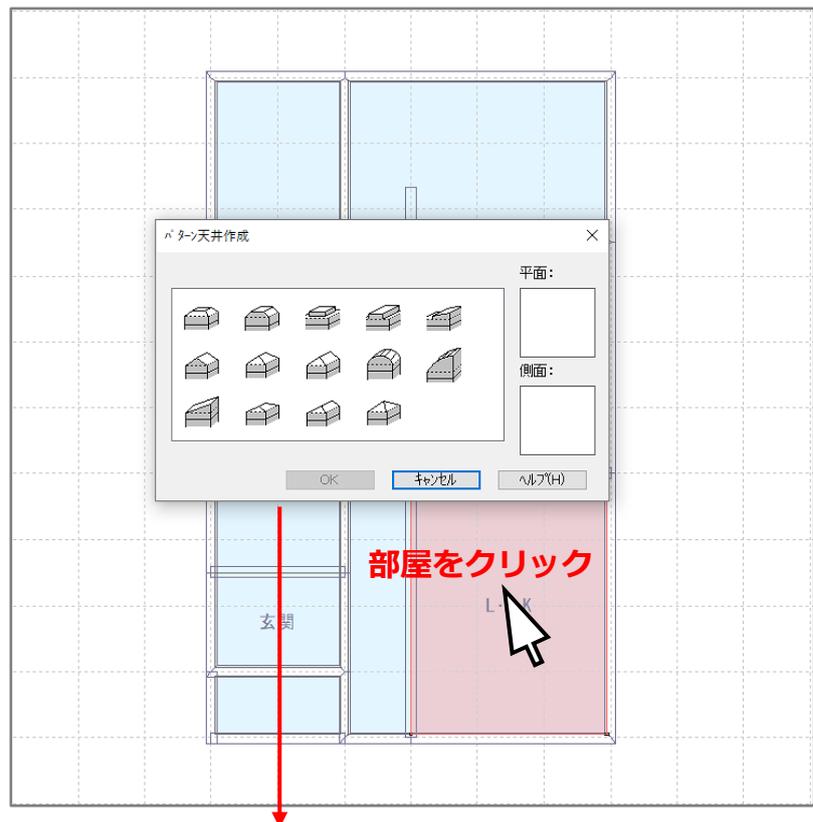
## 参考

勾配天井は、天井伏図でも設定することができます。

- ①  (天井伏図)で、 (天井面)の (パターン天井作成)をクリック
  - \* 「配置」⇒「天井面作成」⇒「パターン天井作成」を選択しても構いません。

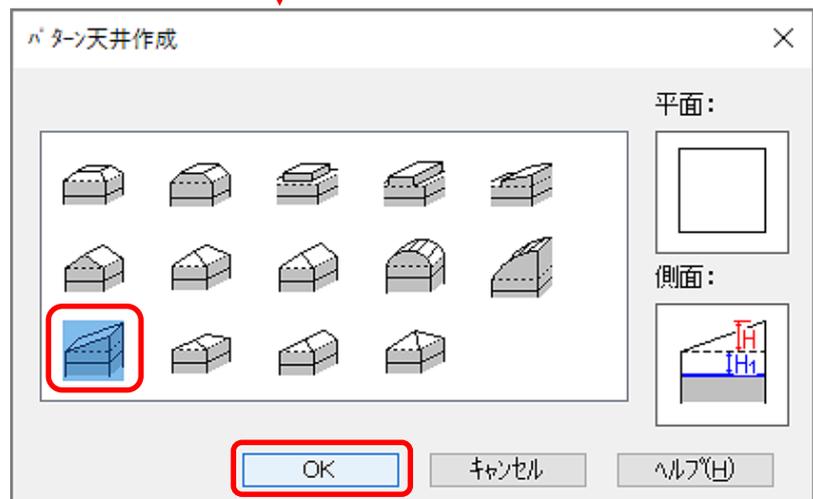
- ② 勾配天井を作成する天井面をクリック

- \* 選択した天井面が赤くなり、パターン天井作成のパターン選択の画面が表示されます。



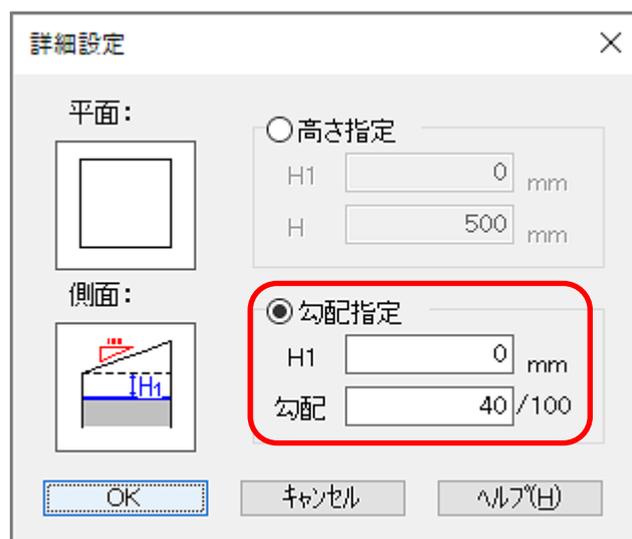
- ③ 左下の勾配天井のパターンを選択し、「OK」をクリック

- \* 詳細設定の画面が表示されます。
- \* パターンを選択すると、そのパターンに対応する平面と側面の図が右側に表示されます。
- \* 操作②で選択した天井面の形状が矩形以外の場合、勾配天井のパターンのみ表示されます。



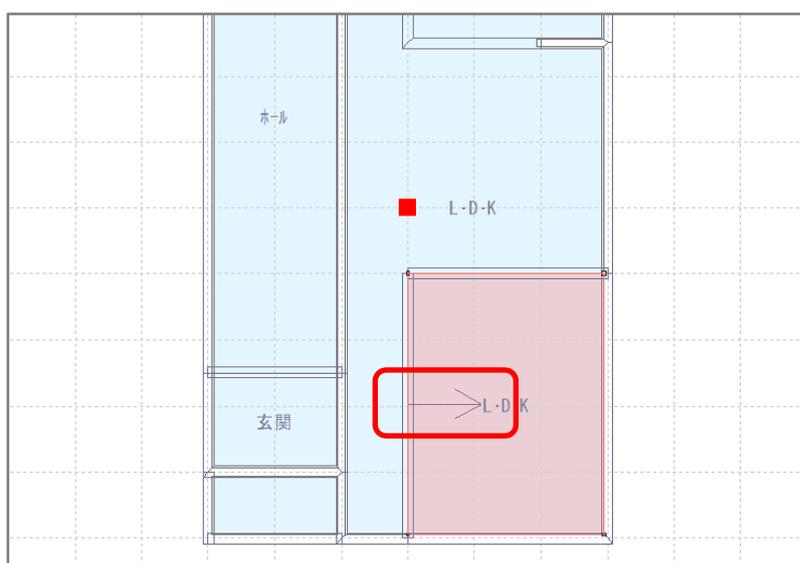
- ④ 「勾配指定」を選択し、勾配の値を設定後、「OK」をクリック

- \* 選択した天井面に、勾配の方向を示す矢印のプレビューが表示されます。
- \* マウスを動かすと、プレビュー表示の矢印の方向が変わります。
- \* 「H1」は、指定する天井面からの高さです。初期は、プラン図または高さ設定で設定しているその部屋の天井高を基準とした高さとなります。



- ⑤ 勾配の高い方となる辺 (矢印の起点が勾配の高い方となる向き) を基準線に指示
- \* 勾配天井が設定されます。

- ⑥ (リアルタイム 3D ビューア) や (3D パース) で確認



### 【注意】

パターン天井は、指定した天井面の高さを基準に作成されます。

例えば、すでに勾配天井に設定された天井面に対しパターン天井を設定した場合は、勾配天井面を基準にパターン天井が生成されます。

天井面の高さを初期値に戻し、パターン天井作成を行ってください。

### 【参考】

高さを数値で指定して勾配天井を作成する場合は、 (天井伏図) で、 (高さ設定) の (1 辺と 1 点指示) をご利用ください。